歯と口によい食べ物を選び，よくかんで食べて，
健康な心と体づくりに取り組む児童の育成
～歯と口の環境と食生活を整え、よくかんで食べる実践を通して～

福岡県北九州市立志井小学校
１８学級５２９名

１．　研究の目標やねらい

目標を「歯と口によい食べ物を選び、よくかんで食べて、健康な心と体をつくろう」と設定し、「歯と口の環境と食生活を整え、よくかんで食べる」ことを実践することから、学校教育目標にある「生きる力を身につけた子ども」また、「明るい子」「考える子」「頑張る子」を目指すことをねらいとした。

２．　研究の計画

児童・保護者・地域の実態を踏まえ、学校の歯と口の健康づくり推進委員会、学校歯科医・小児歯科専門医、保護者・地域が連携を取り、学校の教育活動である特別活動及び各教科と関連付け実践計画を立てた。

「歯と口を正しく機能させる取組を保健領域」で、「食を正しく選択する能力を養う取組を食育領域」で行い、互いを関連付けながら、目標達成に向けて学校全体で取り組んだ。

３．　研究の内容

（１）特別活動による実践

①　保健指導

１～６学年の歯と口の健康課題・目標を立てる。１学期「歯と口」、２学期「生活習慣」３学期「性」に関する保健指導を歯や口の健康と関連付け、各学年で取り組んだ。

第１学年「第一大臼歯を守ろう」

第２学年「よいしせい」

第３学年「うんちと健康」

②　「給食の時間」を活用した食に関する指導

学年の食に関する指導目標に合わせてなんでも食べることや、よく噛んで食べることの重要性、おやつの食べ方等について指導を行った。

第５学年「よくかむことと頭の働き　について知ろう」

第６学年「　いろいろな食事とかむ回数　について考えよう。」

③　担任と養護教諭による学級活動(2)の授業

第１学年「かみかみめいじんになろう」

○　第一大臼歯で、しっかりと噛んで食べよう。

「咀嚼力判定ガムの様子」

第２学年「むしばよぼう　大さくせん」

○　だ液をたくさん出して、う歯を予防し、しっかりと噛んで食べよう。

④　担任と栄養教諭による学級活動(2)の授業

第２学年　学級活動(2)
題材名「カミカミパワーで元気な子」

○　よく噛んで食べて、う歯を予防しよう。

「給食の時間に米を5回と30回噛んだ時の硬さ等を比較している様子。」

第３学年　学級活動(2)
題材名「歯によいおやつで元気な子」

○　歯に良いおやつを選ぼう。

⑤　栄養教諭と養護教諭による連携した指導

全学年　給食の時間「口呼吸の影響と　あいうべ体操の効能・指導」

○　紙芝居形式で、口呼吸チェックを行う。あいうべ体操を続けることで、鼻呼吸になると歯並び良くなる、病気の改善になる等の効能を確認した。その後、正しいあいうべ体操の方法について指導した。

⑥　給食の時間のかみかみセンサー

学級活動(2)の事前事後活動として、かみかみセンサーを使用し、意欲的によく噛んで食べることができるように取り組んだ。

⑦　児童保健委員会

ア.「歯と口を守る！げんきおしえ隊」を結成する。各学級に目標「しせいよく、１口３０回かんでたべよう！」を掲示する。

イ．給食の時間の取組

毎日、「ひみこのはがいーぜ」「よくかめるために、きをつけること」のメッセー

ジ、「かみかみロックンロール」の曲を全校放送して伝え、「しせいよく、１口３０回かんで、食べよう！」と呼びかけた。

ウ．「歯と口の健康週間」の取組

全校児童に「歯と口の健康標語・図画・ポスター」募集のポスターとお知らせを作成し、呼びかけることで、応募作品が多数集まった。

エ．「よくかんでたべよう」のビデオ作成

オ．しいカミ丸キャラクターの募集・掲示

「しいカミ丸」の丸には、船のイメージで、「志井小のみんなで、かむために大切なものを船の上にたくさん乗せて、よくかんで食べて元気に過ごそう！」という思いがあり、教室に行って呼びかけた。

⑧　児童給食委員会

児童の食に対する関心を高め、苦手なものでもしっかり食べる児童が増えるよう、次のような取組を行った。

ア．１学期、残食が多いことから残食調べを行った。

イ．残食調べの結果を給食の時間に各教室に周り、報告した。

ウ．給食を残さず食べるように呼びかけるためにポスターを作成し、給食の時間に掲示してもらうようにした。

（２）各教科による実践

第６学年　家庭科「くふうしよう　おいしい食事」

○　担任と栄養教諭が T1 や T2 となり、かみごたえのある食材、旬について、実物やグラフ、給食の献立等を活用して紹介し、マイ弁当の献立を立てる時に、意識できるようにした。

（３）全校児童や学年での実践

①　「あいうべ体操」（歯並びの改善、口輪筋の鍛錬、唾液増加を図る体操）の取組。

毎朝、８：３０に、「きらきらぼし」の曲を放送することにより、一斉に取り組んだ。

②　給食の時間に「しいカミ丸目標」（よく噛んで食べるために気を付けることの曜日の目標）を確認する取組。

③　全国小学生歯みがき大会への参加

５年生が歯と口の健康を学び、歯のみがき方の実習を行って、「未来宣言シール」を記入した。

④　各学級で「歯と口の健康目標」を決めて取り組む。

○　３年１組の歯と口の健康目標「１口３０回よくかんで、むし歯にならないように、だ液を出してミュータンスきんから歯を守り、健康な体をつくろう。」

（４）学校・家庭・地域の連携した取組

①　志井小すこやか委員会（学校保健安全給食委員会）

学校医、歯科医、薬剤師・家庭・地域から指導・助言を受けて計画的に取り組む。

②　「弁当の日」の実施

歓迎遠足と社会科見学の日に、「弁当の日」を設定し、学習したことを家庭と連携して実践できるようにした。

③　実践カードの工夫

「実践カード」では、保護者、担任、栄養教諭の一言欄を設け、それぞれが児童を称賛したり、励ましたりすることで家庭との連携を図った。

④　「むしばよぼう大さくせん振り返りカード」

保護者・歯科医師（かみかみ博士）から、励ましやアドバイスの言葉を頂いた。

（５）　掲示物等の環境整備

見て触る掲示や自分たちで作ったお弁当の写真を掲示した。

４．成果と課題

（１）成果

①　１年生からの取組により、２年生は意識してよく噛んで食べることができる児童が増えた。

②　全校の「歯と口の健康アンケート」結果では、「口を閉じて食べる」「片がみしない」「よい姿勢で食べる」「早寝早起きをする」ことについて、成果が出ており、噛む際に、気を付けることや規則正しい生活習慣をすることへの意識が高まった。

③　平成２８年度歯科検診結果では、う歯未処置歯者が平成２５年度より９．３％減少、歯肉有所見者が過去４年間で一番少なく、平成２７年度よりも１０．４％減少した。

④　３年生では、「おやつを食べるときに気をつけていることはありますか。」という問いに対しては、気をつけていることがあると答えた児童が３２．７％増加した。

⑤　事前・事後のアンケート結果によると６年生では、栄養バランスについて考えている児童は、学習後には、６．１％増加した。旬について考えている児童も学習前より、２３．９％増加している。

⑥　食に関する指導において、教科等の学習や委員会活動、給食の時間を活用し、実践を積み重ねたことで、以前より食に対する意識が高まった。

⑦　家庭との連携を図ることで、家庭で食について話題にしたり、学習したことを家庭で実践したりする児童がみられた。

（２）課題

①　２年生は、学年の８割以上の児童がよく噛んで食べることが達成できたが、まだ達成できていない児童について、日常の声かけ、保健指導で細かに取組を継続していく。

②　歯肉炎が他学年に比べて多い学年は、朝食の欠食、視力１．０未満が他学年に比べて多い。歯と口の健康の実態と心と体の健康を結び付けて指導を広げたい。

自らの健康に目を向け，よりよい生活習慣の確立をめざす児童の育成
～歯・口の健康づくりを通して～

佐賀県鹿島市立能古見小学校
９学級１８０名

１　研究のねらい

児童に，自分の歯・口の関心をもたせ，自律的な取組により自らの課題を解決させる。歯・口の健康づくりに取り組み，身につけた力をもとによりよい生活習慣の確立をめざす児童の育成をめざす。

２　実施した主な活動

（１）授業研究部

①　目的

学級活動の中で，主体的に学ぶための歯・口の健康づくりに関する指導過程のあり方を探る。その学習の中で課題に気づき，意欲的に解決を図り，学習したことを生活に生かす児童の育成をめざす。

〈主体的な学びの実践例〉

【児童が自分の課題として切実感をもつ】

4年生「むし歯の原因とむし歯の進み方を知ろう」

口の中には，むし歯の原因になるミュータンス菌がたくさんいることを養護教諭が動画で紹介。

自分の口の中にもミュータンス菌がいることを知って，驚いていた。

【児童が様々な解決方法を自分たちで話し合ったり，試したりしながら探っていく】

5年生「歯・口と全身の健康」

８０歳で２０本の歯を残すために，どんなことをすればよいか，グループで話し合った。

4年生「むし歯の原因とむし歯の進み方を知ろう」

鏡を見ながら，歯垢を残さない歯のみがき方を見つけた。

【自分の実践方法を見つけ出す】

1年生「はのおうさまを　まもろう」

学習したことをもとに，自分の第一大臼歯の状態に合ったみがき方を自分で決めた。

② 歯・口の健康に関する発達段階に応じた全体計画

『「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり』（文部科学省2011年）をもとに，発達段階に応じた「全体計画」を作成した。その中で「健康状態の理解」「みがき方」「食生活」の３つの内容における学年ごとのねらいをまとめた。また，学年ごとに押さえておくべき「主な用語」を整理した。

③ 各学年の歯・口の健康づくり

ア 年間指導計画

【第１学年】

月	題　　材
4	ブラッシング指導
6	どうしてむし歯になるの？
9	はの王様をまもろう
12	よくかんでたべよう

【第２学年】

月	題　　材
4	ブラッシング指導
6	みがき残しのないみがき方を考えよう
11	よくかんで食べよう
1	第一大臼歯の上手なみがき方を知ろう

【第３学年】

月	題　　材
6	いろいろな歯を調べてみよう
9	よくかむことの大切さを知ろう
2	歯ならびにあったみがき方を知ろう

【第４学年】

月	題　　材
6	むし歯にならないための歯のみがき方を考えよう
10	ブラッシングで歯ぐきを守ろう
11	よくかんで，歯と口を健康にしよう

【第５学年】

月	題　　材
6	「歯みがき大会」歯肉炎を予防しよう
6	歯と自分をみがこう（歯・口と全身の健康）
10	守ろう！第二大臼歯
1	よくかんで食べよう

【第６学年】

月	題　　材
7	みがき残しのないみがき方を工夫しよう
11	未来の自分のためにも健康をつくろう
1	健康を意識した食事のとり方を考えよう

（２）健康習慣部

①　目的

アンケート調査により，児童の実態をつかみ，その結果を児童や保護者に知らせたり，児童が「歯・口の健康づくり」に関心を持ち，知識を増やせるような校内環境の整備をしたりする。さらに，家庭や地域等への積極的な情報発信により，家庭や地域，関係諸機関との連携を図り，生活習慣をつくることにより，自らが主体的にヘルスプロモーションを構築できるような児童の育成をめざす。

②　校内環境の整備

中央廊下壁面や中央階段踊り場に掲示コーナーを設置し，歯と口に関する資料を掲示した。また，歯みがきセットを収納できる棚を設置した。

【むし歯が多いのはどこ?】

【歯みがきセット収納棚】

③　広報活動

ア　広報誌「歯っぴいカム」

保護者への広報として「歯っぴいカム」を発行した。内容は，「児童へのアンケート結果」「『歯と口の健康づくり』についての研究授業に関するもの」「児童のキャラクター・ポスター・標語に関するもの」等である。各家庭に，学校での実践を詳しく知らせた。

イ　授業参観

保護者にも「歯・口の健康づくり」への意識を高めてもらうために，６月の授業参観では，全学級で「歯・口の健康づくり」に関する授業を行った。

ウ　歯みがき

・　電子黒板を利用し，ＤＶＤで映像を見ながら，さらに，手鏡を使って自分の歯を確認　しながら一斉に歯みがきを行った。

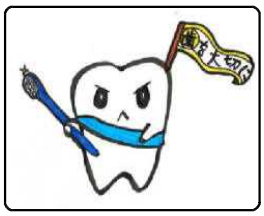
・　長期休業や休日の歯みがきについて，「歯みがきカレンダー」でチェックし，自分のふり返りを書き，保護者にもコメントを書いてもらった。

【映像：手鏡を使って】【歯みがきカレンダー】

エ　児童による活動

（ア）キャラクター・ポスター・標語

児童の「歯・口への健康づくり」への関心を高めるために，キャラクター・ポスター・標語を児童から募った。キャラクターは，児童の投票を経て，最終作品を決め，本校のオリジナルキャラクターとした。優秀なポスター作品は，中央廊下に掲示した。また，各学年の歯みがきセット収納棚に標語を掲示した。



オリジナルキャラクター

【えいせい君】

（イ）委員会活動

【児童集会：保健委員会】

・図書委員会の児童が歯に関する本の読み語りを昼休み，主体的に行った。低学年の児童を中心にたくさん集まり，大好評であった。

・児童集会で，保健委員会が全校児童に向けて，「歯・口の健康」についての発表を行った。説明やクイズなど，内容を工夫して全校児童に啓発を行った。

・全校児童の歯ブラシチェックを保健委員会が行い，交換時期や洗浄の呼びかけをした。

（ウ）ＰＴＡとの協力

【教育講演会】

ＰＴＡと協力して，授業参観日に教育講演会を実施した。平成２７年度は，宮原歯科医院長，宮原昭氏から，平成２８年度は，学校歯科医のひだまり歯科医院長，古庄龍央氏から，保護者と児童が取り組むべき活動を分かりやすく丁寧に紹介してもらった。

３　成果と課題

（１）成果

①　児童に切実感をもたせることは，学習内容に対し主体性をもって取り組むことにつながっていた。

②　歯みがきカレンダーを長期休業中や休日に取り組ませたことは，家庭で歯みがきについて考えるきっかけとなり，保護者の意識も少しずつ高まってきた。

③　広報誌や学校ＨＰによる広報活動を行ったことで，保護者も「歯・口の健康づくり」に対して意識するようになった。

④　「う歯なし」が年々増え，「未処置歯」のある児童は，２年前からするとかなり減った。要観察（ＧＯ）の歯肉も，かなり改善された。（検診の結果より）

（２）課題

①　学んだことが，その時だけでなく，児童の関心・意欲を継続させていくための手だての工夫が必要である。そのためにも家庭や地域・関係諸機関との連携も引き続き必要である。

②　これまでの取組を継続していき，よりよい生活習慣の定着を図っていかなければならない。

自分の身体や生活に関心をもち、より健康な生活をしようとする子どもの育成
～歯と口の健康づくりを通して～

大分県国東市立旭日小学校
６学級３９名

１．研究の目標やねらい

歯と口の健康づくりの学習活動を通して、知識の習得だけでなく、体験的な活動を取り入れながら、自分自身の歯と口の様子から体や生活習慣を振り返ることを通して、より健康的な生活をしようとする子どもを育てていく。また、家庭や地域・関係機関と連携しながら、自分の体を見つめ、自分の成長を見つめ直すことを通して、健康づくりに進んで取り組む子どもを育てていきたいと考え、研究主題を設定した。

２．実施した主な活動

（１）年間計画にもとづいた各教科・学級活動などでの授業

①学習過程（はみがき）を意識した実践

課題把握	・・・はっとして（自分の生活を振り返る・〈気づき〉）
課題の焦点化・追求	・・・みんなで考え（自分たちの生活の問題点を探る）
課題の深化	・・・がっちり深めて（正しい知識や技能を習得する） （学習したことから自分の生活を見つめ直す）
意欲化	・・・きょうからやるぞ（学習したことを生活に生かす）

〈学習過程での工夫〉

・児童の実態に即した教材，資料を活用した学習
・導入段階で，興味関心，問題意識が持てるような場面の設定
・体験型の学習、教材教具の工夫、ＩＣＴの活用
・専門的知識のある歯科医や養護教諭・栄養教諭との連携

ア　平成２７年度　各学年の主な授業実践例

第１学年　学級活動　◆題目　どんなたべかたが　いいのか　かんがえよう
第１学年　やまびこ学級　自立活動　◆題目　すききらいなく　たべよう
第２学年　学級活動　◆題目　みがき残しのない歯みがきの仕方を知ろう
第３学年　学級活動　◆題目　調べたことをリーフレットにして紹介しよう
第４学年　国語科　◆題目　調べたことをポスターにして発表しよう
第５・６学年　保健体育科　◆題目　病気の予防（生活のしかたと病気）

イ　平成２８年度　各学年の主な授業実践例

第１学年　学級活動
◆題目　歯の王子様をまもろう
◆題目　きれいな歯にしよう
第２学年　やまびこ学級　学級活動
◆題目　はに　はなまるの　のみものをしろう
◆題目　歯にはなまるのおやつを　しろう

１年　歯の王子様をまもろう

第２・３学年　学級活動

◆題目　前歯の　上手なみがき方を考えよう

◆題目　歯の生えかわる時期のみがき方について考えよう

第４学年　学級活動

◆題目　自分の歯に合った歯みがきの仕方を考えよう

◆題目　歯と口を守る工夫を知ろう

第５・６学年　学級活動

◆題目　上手な歯ブラシの使い方を考えよう

◆題目　むし歯予防に効果的なだ液のはたらきを理解し、自分の食生活見直そう

２・３年　前歯の　上手なみがき方を考えよう

４年　歯と口を守る工夫を知ろう

【「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり」公開研究発表会】

（２）日常活動の実践

①給食後の歯みがきの習慣化

・砂時計、タイマー、鏡、歯みがき手順のパネルの掲示

②取り組み週間の設定

・はっぴーポイント週間（５月・９月・１月）実施とアンケートチェック

・はっぴー週間（６月・１０月・１１月・２月）実施とアンケートチェック

・夏休みはみがきカレンダー（８月）

③委員会活動

・キャラクター募集（むし歯予防のキャラクター）

・給食に使われている食材の掲示（赤・黄・緑のグループごと）

・昼の放送（献立紹介・給食便り紹介・食べ物クイズ）

④保健集会【全校児童に知らせたいことを中心に保健集会実施】

・「歯について学ぼう」（６月）

歯の形と働きについて～養護教諭説明

動物たちのよい歯甲子園をもとにした紙芝居

今年度の歯科検診結果の説明

・「おやつのとり方を考えよう」（６月）

委員会の発表（劇）

おやつの意義～栄養補給、心の安定（養護教諭の話）

・「夏の飲み物について考えよう」（７月）

紙芝居～「ゴクゴクゴクちゃん、どうしたの」

砂糖の多い飲み物注意

ペットボトル飲料に含まれる砂糖の量

キャラクター　むしば無王

保健集会～おやつのとり方を考えよう

・「食べ物について学ぼう～食育カルタ大会～」（７月）
・「むし歯のできるわけを知ろう」（１２月）
　委員会の発表（劇）
　８０２０運動について・硬い物を食べる大切さ
・「赤・黄・緑の食べ物について知ろう」（１月）
　赤黄緑の食べ物とはたらきについて（劇）
　にがてな食べ物アンケートの結果
　カルシウムが多く含まれる食品と歯の健康の関係

食育カルタ大会

⑤全国歯みがき大会参加（４・５・６年生が参加）
「歯と自分をみがこう」のテーマのもと、クイズ、歯肉の観察、歯肉炎のサイン、みがき方の演習、トップアスリートの話などから、歯・口の健康づくりについて学ぶことができた。

全国歯みがき大会

⑥フッ化物洗口の実施
学校歯科医のご協力のもと、週１回のフッ化物洗口を実施。

フッ化物洗口

⑦環境づくり
・歯ブラシ保管用乾燥機の設置、鏡、砂時計、タイマー
・本のコーナーの設置（歯や食べ物に関する・歯や口や食育に関する）
・掲示物（学級掲示・校内掲示）
　歯のみがき方、歯のけんこうチェック、よくかんで食べよう
　歯のつくりとむし歯の進み方、歯ブラシの部位と使い方
　くるくる紙芝居（こどもの歯とおとなの歯・ミュータンス菌ものがたり）

（３）家庭・地域等の連携による実践
①学校便り、学級通信、保健だよりを通しての広報
②歯科検診後の事後措置
③取り組み週間（はっぴー週間、はっぴーポイント週間）のチェックによる歯磨きや食生活の習慣化
④ＰＴＡ（ＰＴＡ全体会の中で）
栄養教諭による食育講話、養護教諭の歯磨きと食生活の説明
参観授業への保護者参加（歯と口の健康づくりの授業参観）
⑤学校歯科医によるフラッシング指導
⑥栄養教諭による食育学習
第１学年「たべもののなまえとはたらきをしろう」～赤、黄、緑の働きについて～
第２学年「たべもののはたらきを知ろう」～赤、黄、緑の食材～
第３学年「おやつのひみつを見つけてなかよくしよう」
～おやつの意味、食べる時間、おやつをとる時の３つポイント～
第４，５，６学年「『かむ』ことのパワーを知ろう」～かむことの大切さについて～

ブラッシング指導

⑦地域の高齢者との連携
・校区に住む８０歳以上の方で、自分の歯を２０本以上残っている方々の話事前インタービューによる取材協力、授業の中でのゲストティチャーとしての話、授業参観

３．成果や課題等

（１）年間計画にもとづいた各教科・学級活動などでの授業から

□成果

・授業展開（導入の場面・理解し深める場面・まとめや振り返りの場面）の中で、児童の授業への意識づけ・教材教具の工夫による理解の深まり・ワークシートを利用した発表による自分の考えの振り返りができた。また、児童の日常実践（歯磨き等）につながるための一単位時間の中での体験的活動の導入は、大きな成果があった。

■課題

・各学年の「歯と口・食の年間指導計画」を立て実践しているが、学年の発達段階によるめあてや指導の違いの明確化までいきつかなかった点がある。

（２）日常活動の実践から

□成果

・給食後の歯みがきやフッ化物洗口をはじめ、様々な取り組みにより、子ども達の「歯と口の健康づくり」に対する意識や関心が高まっている。

・取り組み週間を設定することにより、歯や口に対する意識を継続することができた。自分の反省だけでなく、保護者からも言葉を書いてもらうことで、家庭での様子などもわかりやすかった。担任も各児童の実態を把握し、日常の指導につなげることができた。

・保健集会では、全校児童が興味をもって学習をすることができていた。また、学級の指導につなげるきっかけづくりとなった。

・掲示物は知識や情報を得る大事な役目がある。歯や口に関する掲示物や本などに子ども達はすぐ気づき、見たり手に取ったりしていた。歯や口についての関心が高まり、学級での学習や日頃の歯みがきにもつながっているように思われる。

■課題

・取り組み週間がマンネリにならず、子ども達の意欲化につながっていくために、意義を確認したり、事前や週間中や事後の扱いを充実させていったりする必要がある。

（３）家庭・地域等の連携による実践から

□成果

・歯と口の健康づくりは、歯みがきはもちろんのこと、生活習慣や食生活などとも関心が深く、家庭の協力が不可欠である。学校便りや学級通信、保健便り、ＰＴＡの場を通じ、保護者の理解と協力を得ることができた。

・取り組み週間の設定により、家庭でも意識を持ち、いっしょに取り組んでもらえた。家庭でも歯みがきや食生活について気をつけている様子や、しあげ磨きをしている様子などもうかがえた。手順カードや砂時計を各児童に配布したことにより、家庭でも同じように３分間かけて磨くことができやすくなったようだ。

■課題

・今後も長く歯と口の健康づくりを続けるためには、保護者があまり負担に感じず、楽しみながら行えるような取り組み方も考えていく必要がある。

歯・口の健康について自ら気付き，考え，実践する児童の育成

熊本県天草市立河浦小学校
８学級　１６４名

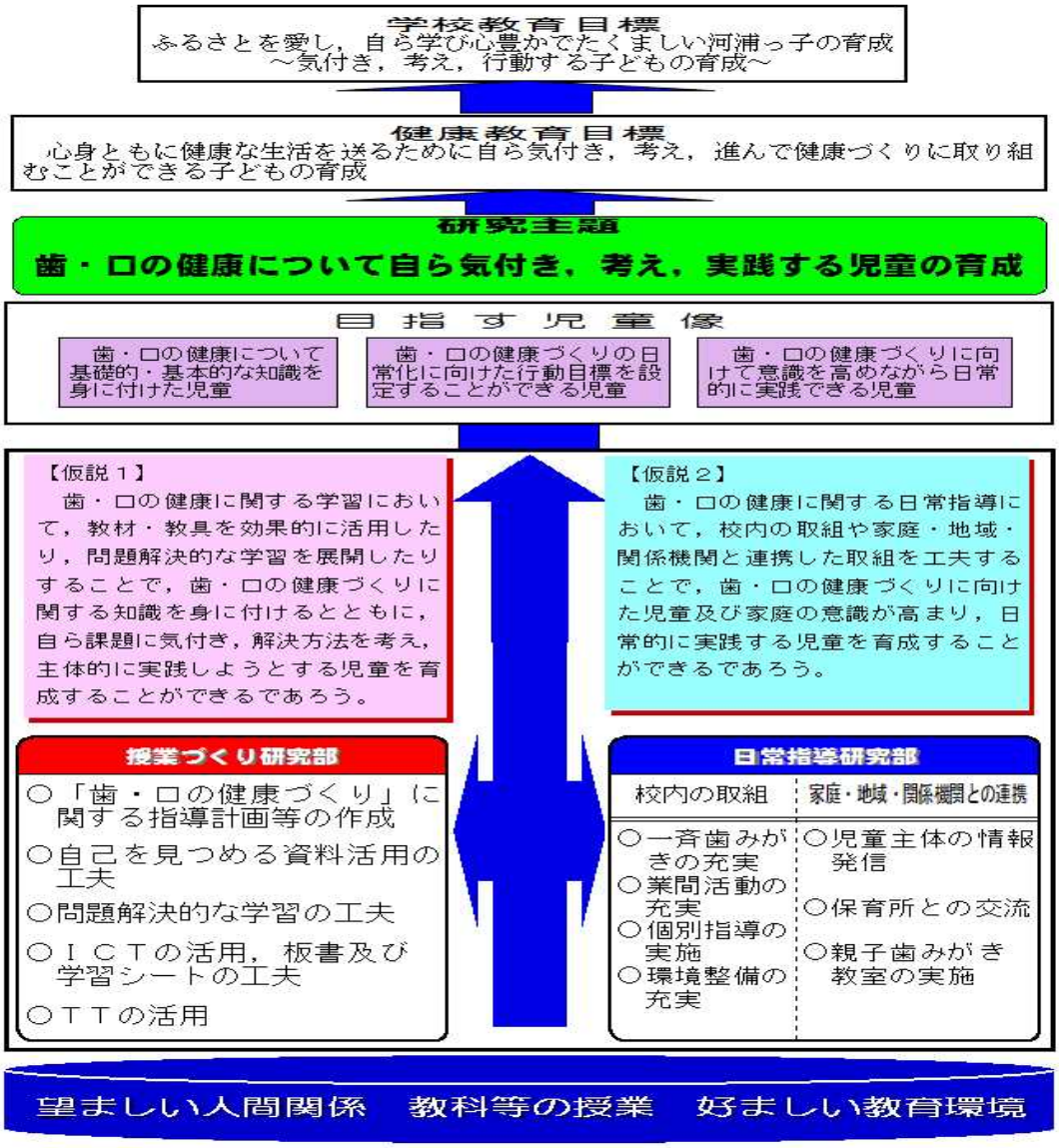
１．研究の目標

(1)　歯・口の健康づくりに関する学習を通して，自らの健康課題を見付け，それをよりよく解決する方法を工夫・実践・評価し，生涯にわたって健康の保持増進ができるような資質や能力を育てる。

(2)　歯・口の健康づくりの学習を通して，友人や家族など他人の健康にも気を配り，自他ともに健康であることの重要性が理解できるようにする。

(3)　歯・口の健康づくりの活動を通して，学校・家庭及び地域社会が行う健康の保持増進に関する活動に進んで参加し，貢献できるようにする。

２．研究の概要



３．研究の実際

(1)　「授業づくり」に関する取組

①　「歯・口の健康づくり」に関する指導計画等の作成

②　自己を見つめる資料活用の工夫

歯科保健全体計画・年間指導計画・各学年の学級活動計画を作成しました。

学級の傾向をつかむ資料提示

導入時に学級の問題として気付かせました。

個に応じた写真等の資料

個の行動目標を設定する際に，活用しました。

③　問題解決的な学習の工夫

学級活動の学習過程を「つかむ」「探る」「見付ける」「決める」で構成しました。「決める」段階では，一人一人が確実に行動目標を選択・設定できるようにしました。

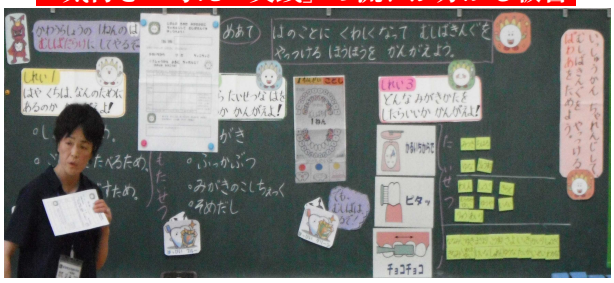
学級活動における問題解決的な学習展開

つかむ	「学級の傾向」や「課題」の認識
探　る	学習課題(めあて)の価値付け及び設定
見付ける	個々の行動目標の設定につなげるための考えの深め合い・共有化
決める	自分の行動目標の設定まとめ及び振り返り

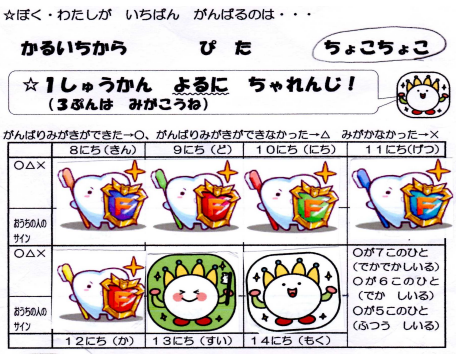
④　ＩＣＴの活用，板書及び学習シートの工夫

タブレット端末による歯の観察

「気付き→考え→実践」の流れが分かる板書



行動目標の実践化を意識した学習シート



学習内容を日常生活で実践し，学習シートに記録する欄を位置付けました。

⑤　ＴＴの活用

養護教諭による指導

(2)　「日常指導(校内の取組)」に関する取組

①　一斉歯みがきの充実

歯みがきソング・手鏡を使った一斉指導

オリジナルの歯みがきソングで準備を始めます。手鏡を使いながら，楽しくブラッシングします。

② 業間活動の充実

歯ッピーウィークの設定

月曜日に染め出しをしてみがき残しをチェックします。自分で歯みがきのめあてを決めて取り組み，金曜日に「確認染め」をして成果をみます。

③ 個別指導の実施

ＣＯ・ＧＯの個別指導

「ＣＯ・ＧＯって何？」から始め、自分の口の中を観察して，染め出してみがき残しをチェックします。数日後，「確認染め」をして成果をみます。

④ 環境整備の充実

体験的・具体的掲示物の作成

歯の大型模型

歯みがき練習用模型

学びのあしあとコーナー

(3) 「日常指導(家庭・地域・関係機関との連携)」に関する取組

① 児童主体の情報発信

授業参観日(７月)に保護者(８０人)に向けて，保健委員会と３年生が学習したことを発表しました。

② 保育所との交流

３年生児童が「歯・口の健康に関する本の読み聞かせとクイズを行ったり，保育所訪問で職員が歯みがき指導を行ったりしました。

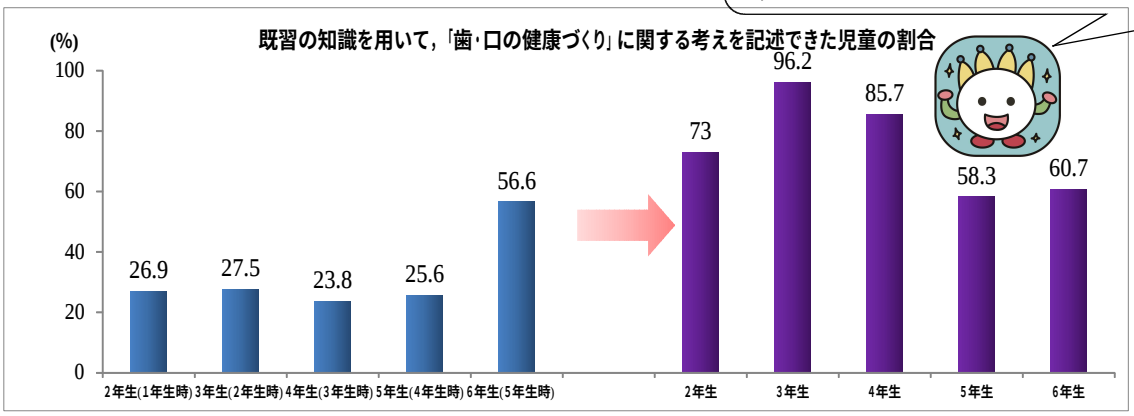
③ 親子歯みがき教室の実施

学校歯科医による親子歯みがき教室や歯科衛生士によるブラッシング指導を行いました。

４．児童の変容

(1)　「基礎的・基本的な知識を身に付けた児童」の育成

「『歯・口の健康づくり』に向けて，気を付けていることは何ですか」という質問に対して，「縦みがき」等の各学年で身に付けさせたい知識を用いて，自分の考えを記述できた児童の割合です。



(2)　「日常化に向けた行動目標を設定することができる児童」の育成

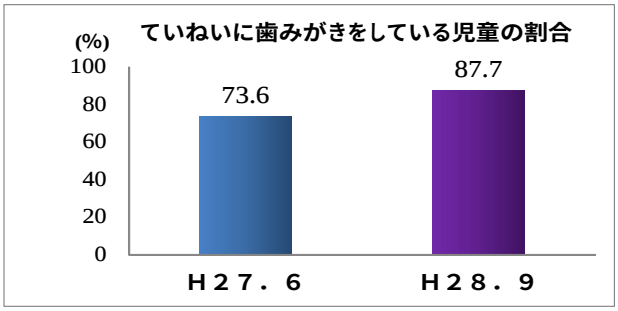
児童Ａ(５年生時)の行動目標
毛先を垂直に当てて，軽くみがく。

行動目標がとても具体的になりました。

児童Ｂ(６年生時)の行動目標
第二大臼歯を守るために，歯ブラシの部分を使い分けてみがきます。歯ブラシの毛先，わき，かかとを使い分けてみがくことで，かむ力が強くなり，歯並びもよくなる

(3)　「意識を高めながら日常的に実践できる児童」の育成

「みがき残しがないよう，ていねいに歯みがきをしていますか」という質問に対して，「はい」と回答した児童の割合です。



５．主な成果と課題

○成果　●課題

(1)　仮説１「授業づくりに関する取組」について

○**「自己を見つめる資料」の提示**は，学級の問題点や個々の課題に気付かせることに有効であった。

○プロジェクターやタブレット端末などの**ＩＣＴを活用**することで，視覚的に学習に関する必要感をもたせ，歯と口の大切さや役割等に気付かせることができた。

●学習内容や児童の実態に応じた**学習過程の工夫改善**を図っていきたい。

(2)　仮説２「日常指導に関する取組」について

○給食後の歯みがき指導における**「手鏡及び歯みがきの模範映像の活用」「定期的な染め出しの取組」**により，歯みがきの順番を意識しながら，効果的に歯ブラシを使って歯みがきに取り組む児童の姿が見られるようになった。

○**学校歯科医及び歯科衛生士による専門的なブラッシング指導**が，児童の歯みがきの技能向上や，教師の指導力の向上につながった。

●歯・口が大切であるという意識は高まったが，**休日等における自主的な歯みがきの実践**については十分とはいえず，継続して指導していく必要がある。

「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり」

～歯・口の健康について関心をもち自ら進んで健康な生活ができる児童の育成～

鹿児島県南さつま市立田布施小学校
８学級１１８名

本校は「かしこく」「なかよく・ただしく」「たくましく」を学校目標に掲げ，「歯・口の健康づくり」では学校研究のテーマの一環として，学校の全児童・職員・保護者・学校医等また近隣校の小中学校及び地域と連携して取組を進めている。

１　研究のねらい

歯・口の健康について関心をもち自ら進んで健康な生活ができる児童の育成

２　実施した主な活動

⑴　鹿児島歯科学院専門学校生による歯科保健指導（５月１９日）

１年生から４年生まで（９：５０～１１：３５）

学生手作り教材に興味をもち積極的に発表していた。

【児童の感想】

「やさしくていねいにみがいたら歯がうれしそうだった。」

「歯ブラシは気を付けてとりかえます。」

⑵　全国歯みがき大会に参加（６月３日）

５年生・６年生（９：５０～１１：３５）

インターネットと接続した電子黒板を前にして黄色と緑色の札を片手に全国の児童と歯や口の健康クイズに盛り上がりながら参加。

【児童の感想】

「知らないことがたくさんあった。」

「歯肉炎は，治るということを初めて知りました。」

「デンタルフロスを使うといいことが分かりました。」

⑶　「“よい歯元気いっぱい”図画・ポスターコンクール」の作品募集

日頃から歯の健康について考えていることをポスターや絵にすることができた。

⑷　歯・口の健康月間全体指導（６月６日）

児童保健・給食委員会が中心となって歯みがき調べ，標語の募集の呼びかけを行った。

【児童の感想】

「良い標語ができみんなにほめてもらってうれしかった。」

「クイズも楽しかった。」

「歯みがき調べでは，ぼくのクラスはよくみがけていた。」

【児童保健・給食委員会の感想】

「クイズを作成することで知らなかったことが分かった」

「良い標語がたくさんあった。」

⑸　第１回学校保健委員会　（６月１６日）

学校歯科医　薬剤師の指導講話

【保護者の感想】

「仕上げみがきの大切さを改めて感じることでした。」

【職員の感想】

「歯ブラシの点検や個に応じた指導に努めたい。」

⑹　文部科学大臣表彰に関する学校保健被表彰候補資料提出（７月１５日報告）

⑺　生活習慣についてのアンケート・・日本医師会へ郵送（１１月１１日締め切り）

【本校の実態】

アンケート結果を基に取組の課題を探り，改善する。

⑻　全国学校歯科保健研究大会　（１１月１６・１７日）

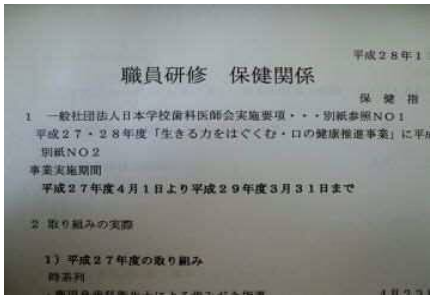
於：東京都　文京シビックセンター

（職員参加）

本校の職員研修で最新の歯科保健の取組を職員へ還元した。

・　学校歯科保健の変遷

・　現代における歯科保健の課題と現状



⑼　第２回学校保健委員会（１１月２４日）

講師　南さつま市立大浦小学校

栄養教諭　６０分

「歯や口腔に良い食べ物，食べ方」等について

【保護者の感想】

「我が子に噛むことの大切さを教えながら気を付けたい。」

「調理の工夫，給食献立を参考に家でも取り入れたい。」

【職員の感想】

「自分もしっかり噛めていない。」

「給食時間意識して噛ませたい。」

「かみかみセンサーを活用したい。」

⑽　第３回学校保健委員会（２月１６日）

・　１年間の歯・口の健康づくり推進活動のまとめ

・　本年度の反省を踏まえた今後の取組について

【保護者の感想】

「これまでの取組を生かし今後も取り組んで欲しい。」

「家庭においても今後も歯の健康を意識して取り組みたい。」

【職員の感想】

「今後も取組を続ける。」

「課題をもとに振り返りながら創意工夫をしていく。」

３　成果と課題

⑴　学校歯科医，薬剤師，歯科衛生士，担任等による歯科指導を行うことによって，児童が歯みがきを丁寧にするようになったこと，自分の口の中に興味をもつようになったことなど歯・口に対する意識が高まりつつある。

⑵　保護者が，子どもの歯の健康状態に目を向け，調理の工夫や食材選びなど生活習慣を改善したり，治療に努めてくださることで仕上げみがきをしたり意識の高まりを感じる。

⑶　治療がなかなか進まない家庭への啓発の工夫を図る。（ほけん便り，個別の相談等）

⑷　組織的，計画的な指導及び学校と家庭の連携による基本的生活習慣の実践の定着を図る。

⑸　学校歯科医，歯科衛生士との連携を更に図る。（本校の実態をお示しし，専門的立場からアドバイスを頂き共に学校側と課題解決をしていきたい。）

⑹　口腔内のけがの防止を図る。（歯が欠ける，折れる，抜ける，唇を切る等）